

光星 きょう 星稜戦

2日連続で全試合順延



室内練習場で打撃練習に取り組む八学光星の選手たち。24日、兵庫県西宮市の甲子園球場

第96回 センバツ 高校野球

第96回選抜高校野球大会（センバツ）は第6日の24日、天候不良のため、兵庫県西宮市の甲子園球場で実施予定だった3試合を順延した。日程は1日ずつ繰り下げられ、1回戦の日本航空石川常総学院（茨城）と、2回戦の八戸学院光星―星稜（石川）、熊本国府―阿南光（徳島）は25日に行う。準決勝翌日の休養日を設けず、決勝は31日のまま。試合開始時間に変更はない。予定していた全試合が2日連続で中止となるのは、第82回大会（2010年）以来、14年ぶり。

前日（23日）に続き、試合を行う予定だった6校は同球場の室内練習場で1時間半ずつ調整。八学光星は午前9時から三塁側室内練習場で、野手陣が星稜の主戦左腕をイメージした打撃練習、投手陣が体幹トレーニングや軽めのキャッチボールを行った。

仲井監督は「選手のコレクションや気持ちの部分には問題ない。雨も味方につけ、総力戦で戦いたい」、ユニホームに着替えてから中止を知ったという主戦洗平は「初戦で150球ほど投げたので、順延はよかったです」

う。星稜は昨秋の明治神宮大会王者。チャレンジャーのつもりで戦つて、25日の試合（午前11時半開始予定）へ向け、力を